

評価規準（令和２年度） 【国語】 6 学年

単元名	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
言葉で伝え合おう 自分に質問してみよう	◎【知技】言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることに気付いている。（〔知識及び技能〕(1)ア）	◎【思判表】「話すこと・聞くこと」において、目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討している。（〔思考力、判断力、表現力等〕Aア）	【態度】積極的に自分のことを客観的に捉え、今までの学習を生かして質問について考えようとしている。
風景 純銀もざいく	◎【知技】思考に関わる語句の量を増し、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにしている。（〔知識及び技能〕(1)オ） ◎【知技】文章を音読したり朗読したりしている。（〔知識及び技能〕(1)ケ）	◎【思判表】人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすること。 ⇒◎思判表C(1)エ	【態度】進んで言葉の意味を考え、繰り返しの響きや意味に気をつけて音読しようとしている。
あの坂をのぼれば	◎【知技】情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使っている。（〔知識及び技能〕(2)イ）	◎【思判表】「書くこと」において、目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にしている。（〔思考力、判断力、表現力等〕Bア）	【態度】粘り強く伝えたいことを明確にしようとし、学習の見通しをもって考えや意見を図に書いてまとめようとしている。
図に表して考えよう	◎【知技】情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使っている。（〔知識及び技能〕(2)イ）	◎【思判表】「書くこと」において、目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にしている。（〔思考力、判断力、表現力等〕Bア）	【態度】粘り強く伝えたいことを明確にしようとし、学習の見通しをもって考えや意見を図に書いてまとめようとしている。
一 筆者のものの見方や感じ方などにふれ、随筆に親しもう 春はあけぼの	◎【知技】親しみやすい古文や漢文、近代以降の文語調の文章を音読するなどして、言葉の響きやリズムに親しんでいる。（〔知識及び技能〕(3)ア）	◎【思判表】「書くこと」において、目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にしている。（〔思考力、判断力、表現力等〕Bア） ◎【思判表】「読むこと」において、文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げている。（〔思考力、判断力、表現力等〕Cカ）	【態度】進んで語感や言葉の使い方に対する感覚を意識し、学習の見通しをもって『枕草子』ふうの文章を書こうとしている。

薫風 「迷う」	◎【知技】文の中での語句の係り方や語順、文と文との接続の関係、話や文章の構成や展開、話や文章の種類とその特徴について理解している。 (〔知識及び技能〕(1)カ)	◎【思判表】「読むこと」において、事実と感想、意見などとの関係を叙述を基に押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握している。(〔思考力、判断力、表現力等〕Cア) ◎【思判表】「読むこと」において、目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けたり、論の進め方について考えたりしている。(〔思考力、判断力、表現力等〕Cウ)	【態度】積極的に随筆の特徴について理解し、今までの学習を生かして、者のものの見方や感じ方などに触れ、随筆に親しもうとしている。
随筆を書こう	◎【知技】思考に関わる語句の量を増し、文章の中で使っているとともに、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにしている。また、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使っている。(〔知識及び技能〕(1)オ) ◎【知技】比喻や反復などの表現の工夫に気付いている。(〔知識及び技能〕(1)ク)	◎【思判表】「書くこと」において、目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にしている。(〔思考力、判断力、表現力等〕Bア) ◎【思判表】「書くこと」において、筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えている。(〔思考力、判断力、表現力等〕Bイ)	【態度】積極的に随筆の特徴について理解し、学習課題に沿って心を動かされたできごとから書く事柄を決め、随筆を書こうとしている。
漢字の広場 ① 三字以上の熟語の構成	◎【知技】思考に関わる語句の量を増し、文章の中で使っているとともに、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにしている。また、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使っている。(〔知識及び技能〕(1)オ)		【態度】積極的に前学年や当該学年で配当されている漢字を文や文章の中で使い、学習の見通しをもって熟語の由来に関心をもち調べようとしている。
漢字の広場 ① 五年生で学んだ漢字 ①	◎【知技】前学年や当該学年で配当されている漢字を文や文章の中で使っている。(〔知識及び技能〕(1)エ)	◎【思判表】「書くこと」において、筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えている。(〔思考力、判断力、表現力等〕Bイ)	【態度】積極的に前学年や当該学年で配当されている漢字を使い、学習課題に沿って、教科書の絵を説明する文を書こうとしている。
二 筆者の考えを読み、説明の仕方の特徴をとらえよう 雪は新しいエネルギー	◎【知技】情報と情報との関係付けの仕方、語句と語句との関係の表し方を理解し使っている。(〔知識及び技能〕(2)イ)	◎【思判表】「書くこと」において、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりしているとともに、事実と感想、意見などを区別して書いたりしているなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。(〔思考力、判断力、表現力等〕Bウ) ◎【思判表】「読むこと」において、事実と感想、意見などとの関係を叙述を基に押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握している。(〔思考力、判断力、表現力等〕Cア)	【態度】積極的に雪エネルギーの利用に対する筆者の主張と取り上げた事例の関係、残された課題などを検討し、今までの学習を生かして、筆者の説明の仕方や雪エネルギーの利用について考えをまとめようとしている。

		◎【思判表】「読むこと」において、目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けたり、論の進め方について考えたりしている。（〔思考力、判断力、表現力等〕Cウ）	
主語と述語の対応をみる	◎【知技】文の中での語句の係り方や語順、文と文との接続の関係、話や文章の構成や展開、話や文章の種類とその特徴について理解している。（〔知識及び技能〕(1)カ）		【態度】積極的に主語と述語の対応について理解し、今までの学習を生かして、文のねじれに気づき、正しく直そうとしている。
三 立場を決めて、主張を明確にしよう 地域の防災について話し合おう	◎【知技】思考に関わる語句の量を増し、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにしている。（〔知識及び技能〕(1)オ）	◎【思判表】「話すこと・聞くこと」において、互いの立場や意図を明確にしながら計画的に話し合い、考えを広げたりまとめたりしている。（〔思考力、判断力、表現力等〕Aオ）	【態度】粘り強く意見の違いを大事にしながら話し合い、学習の見通しをもって考えを深めようとしている。
パンフレットで知らせよう	◎【知技】情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使っている。（〔知識及び技能〕(2)イ）	◎【思判表】「書くこと」において、筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えている。（〔思考力、判断力、表現力等〕Bイ） ◎【思判表】「書くこと」において、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりしているとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりしているなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。（〔思考力、判断力、表現力等〕Bウ） ◎【思判表】「書くこと」において、引用したり、図表やグラフなどを用いたりして、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。（〔思考力、判断力、表現力等〕Bエ） ◎【思判表】「書くこと」において、文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えている。（〔思考力、判断力、表現力等〕Bオ）	【態度】積極的に相手や目的に応じて内容や構成を考え、学習課題に沿ってパンフレットを作ろうとしている。

雨	◎【知技】語句の由来などに関心をもっていると ともに、時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いに気付き、共通語と方言との違いを理解している。また、仮名及び漢字の由来、特質などについて理解している。（〔知識及び技能〕(3)ウ）	【思判表】「書くこと」において、目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にしている。（〔思考力、判断力、表現力等〕Bア）	【態度】粘り強く「雨」を扱った言語表現を集め、学習の見通しをもって「言葉ノート」を作ろうとしている。
世代による言葉のちがい	◎【知技】語句の由来などに関心をもっていると ともに、時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いに気付き、共通語と方言との違いを理解している。また、仮名及び漢字の由来、特質などについて理解している。（〔知識及び技能〕(3)ウ）	【思判表】「話すこと・聞くこと」において、互いの立場や意図を明確にしながら計画的に話し合い、考えを広げたりまとめたりしている。（〔思考力、判断力、表現力等〕Aオ）	【態度】積極的に世代による言葉遣いの違いについて理解し、学習課題に沿って相手や場面に応じて適切な言葉を選んで使おうとしている。
漢字の広場 ② 複数の意味をもつ漢字	◎【知技】語句の由来などに関心をもっていると ともに、時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いに気付き、共通語と方言との違いを理解している。また、仮名及び漢字の由来、特質などについて理解している。（〔知識及び技能〕(3)ウ）		【態度】積極的に前学年や当該学年で配当されている漢字を文や文章の中で使い、学習の見通しをもって複数の意味をもつ漢字が構成する熟語の意味を考えようとしている。
漢字の広場 ② 五年生で学んだ漢字 ②	◎【知技】前学年や当該学年で配当されている漢字を文や文章の中で使っている。（〔知識及び技能〕(1)エ）	◎【思判表】「書くこと」において、筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えている。（〔思考力、判断力、表現力等〕Bイ）	【態度】積極的に前学年や当該学年で配当されている漢字を使い、学習課題に沿って、教科書の絵を説明する文を書こうとしている。
四 すぐれた表現の効果を考え、登場人物の心情を読もう 川とノリオ	◎【知技】比喻や反復などの表現の工夫に気付いている。（〔知識及び技能〕(1)ク） ◎【知技】文章を音読している。（〔知識及び技能〕(1)ケ）	【思判表】「話すこと・聞くこと」において、互いの立場や意図を明確にしながら計画的に話し合い、考えを広げたりまとめたりしている。（〔思考力、判断力、表現力等〕Aオ） ◎【思判表】「読むこと」において、登場人物の相互関係や心情などについて、描写を基に捉えている。（〔思考力、判断力、表現力等〕Cイ） ◎【思判表】「読むこと」において、人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりしている。（〔思考力、判断力、表現力等〕Cエ） ◎【思判表】「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめている。（〔思考力、判断力、表現力等〕Cオ）	【態度】進んで優れた表現を味わいながら、人物の心情を読み優れた表現を味わいながら、人物の心情を読み、学習の見通しをもって優れた表現についての感想を話し合おうとしている。

		◎【思判表】「読むこと」において、文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げている。（〔思考力、判断力、表現力等〕Cカ）	
教えて！ あなたの「とっておき」	◎【知技】言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることに気付いている。（〔知識及び技能〕(1)ア）	◎【思判表】「話すこと・聞くこと」において、話し手の目的や自分が聞こうとする意図に応じて、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめている。（〔思考力、判断力、表現力等〕Aエ）	【態度】積極的に話し手の意図を考慮し、これまでの学習を生かして自分の意見と比べて考えをまとめようとしている。
詩を味わおう イナゴ	◎【知技】思考に関わる語句の量を増し、話の中で使っているとともに、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにしている。また、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使っている。（〔知識及び技能〕(1)オ）	◎【思判表】「読むこと」において、登場人物の相互関係や心情などについて、描写を基に捉えている。（〔思考力、判断力、表現力等〕Cイ）	【態度】積極的に言葉の広がりを楽しみ、学習課題に沿って詩の世界を楽しもうとしている。
「知恵の言葉」を集めよう	◎【知技】思考に関わる語句の量を増し、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにしている。（〔知識及び技能〕(1)オ） ◎【知技】原因と結果など情報と情報との関係について理解している。（〔知識及び技能〕(2)ア）	【思判表】「書くこと」において、目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にしている。（〔思考力、判断力、表現力等〕Bア）	【態度】進んで語感や言葉の使い方に対する感覚を意識し、学習の見通しをもって自分の「知恵の言葉」をつくろうとしている。
五 てんかいを考えて、表現を工夫して書こう 物語を作ろう	◎【知技】文の中での語句の係り方や語順、文と文との接続の関係、文章の構成や展開、文章の種類とその特徴について理解している。（〔知識及び技能〕(1)カ）	◎【思判表】「書くこと」において、筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えている。（〔思考力、判断力、表現力等〕Bイ） ◎【思判表】「書くこと」において、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりしているとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりしているなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。（〔思考力、判断力、表現力等〕Bウ） ◎【思判表】「書くこと」において、文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えている。（〔思考力、判断力、表現力等〕Bオ）	【態度】積極的に物語のつくりの特徴について理解し、学習課題に沿って写真から想像を広げ、展開を考えて物語を作ろうとしている。
会話を広げる	◎【知技】言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることに気付いている。（〔知識及び技能〕(1)ア）	◎【思判表】「書くこと」において、引用したり、図表やグラフなどを用いたりして、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。（〔思	【態度】積極的に相手とのつながりをつくる言葉の働きを意識し、学習課題に沿って相手との言葉の掛け合いの工夫を考えようとしている。

		考力，判断力，表現力等〕Ｂエ） ◎【思判表】「書くこと」において，文章全体の構成や書き表し方などに着目して，文や文章を整えている。（〔思考力，判断力，表現力等〕Ｂオ）	
漢字の広場 ③ 熟語の使い分け	◎【知技】思考に関わる語句の量を増し，文章の中で使っているとともに，語句と語句との関係，語句の構成や変化について理解し，語彙を豊かにしている。また，語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して，語や語句を使っている。（〔知識及び技能〕（１）オ）		【態度】積極的に前学年や当該学年で配当されている漢字を文や文章の中で使い，学習の見通しをもって意味のよく似た熟語の使い方の違いを理解し，使い分けようとしている。
漢字の広場 ③ 五年生で学んだ漢字 ③	◎【知技】前学年や当該学年で配当されている漢字を文や文章の中で使っている。（〔知識及び技能〕（１）エ）	◎【思判表】「書くこと」において，文章全体の構成や書き表し方などに着目して，文や文章を整えている。（〔思考力，判断力，表現力等〕Ｂオ）	【態度】積極的に前学年や当該学年で配当されている漢字を使い，学習課題に沿って，教科書の絵を説明する文を書こうとしている。
一 「心の世界」について考え、自分の考えを伝え合おう あなたはどうか感じる？ ぼくの世界、君の世界	◎【知技】原因と結果など情報と情報との関係について理解している。（〔知識及び技能〕（２）ア）	◎【思判表】「話すこと・聞くこと」において，話し手の目的や自分が聞こうとする意図に応じて，話の内容を捉え，話し手の考えと比較しながら，自分の考えをまとめている。（〔思考力，判断力，表現力等〕Ａエ） ◎【思判表】「話すこと・聞くこと」において，互いの立場や意図を明確にしながら計画的に話し合い，考えを広げたりまとめたりしている。（〔思考力，判断力，表現力等〕Ａオ） 【思判表】「書くこと」において，目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりしているとともに，事実と感想，意見とを区別して書いたりしているなど，自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。（〔思考力，判断力，表現力等〕Ｂウ）	【態度】積極的にお互いの考えや意見を関連づけて述べ合い，今までの学習を生かして共通点や相違点をもとに分類しようとしている。
「うれしさ」って何？——哲学対話をしよう 言葉は時代とともに	◎【知技】古典について解説した文章を読んだり作品の内容の大体を知ったりすることを通して，昔の人のものの見方や感じ方を知っている。（〔知識及び技能〕（３）イ）	【思判表】「書くこと」において，文章全体の構成や展開が明確になっているかなど，文章に対する感想や意見を伝え合い，自分の文章のよいところを見付けている。（〔思考力，判断力，表現力等〕Ｂカ）	【態度】積極的に言葉がその時代の人々とともに変化してきたことを理解し，学習課題に沿って自分の考えをまとめようとしている。

二 説得力のある文章を書こう 自分の考えを発信しよう	◎【知技】文の中での語句の係り方や語順，文と文との接続の関係，文章の構成や展開，文章の種類とその特徴について理解している。（〔知識及び技能〕(1)カ）	◎【思判表】「書くこと」において，目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりしているとともに，事実と感想，意見とを区別して書いたりしているなど，自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。（〔思考力，判断力，表現力等〕Bウ） ◎【思判表】「書くこと」において，引用したり，図表やグラフなどを用いたりして，自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。（〔思考力，判断力，表現力等〕Bエ） ◎【思判表】「書くこと」において，文章全体の構成や書き表し方などに着目して，文や文章を整えている。（〔思考力，判断力，表現力等〕Bオ） ◎【思判表】「書くこと」において，文章全体の構成や展開が明確になっているかなど，文章に対する感想や意見を伝え合い，自分の文章のよいところを見付けている。（〔思考力，判断力，表現力等〕Bカ）	【態度】積極的に情報と情報との関係付けの仕方，図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し，学習課題に沿って理由や根拠を示して，説得力のある意見文を書こうとしている。
漢字の広場 ④ 音を表す部分	◎【知技】語句の由来などに関心をもっていると同時に，時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いに気付き，共通語と方言との違いを理解している。また，仮名及び漢字の由来，特質などについて理解している。（〔知識及び技能〕(3)ウ）		【態度】積極的に前学年や当該学年で配当されている漢字を文や文章の中で使い，学習の見通しをもって形声文字について，音と意味，成り立ちも含めて理解しようとしている。
漢字の広場 ④ 五年生で学んだ漢字 ④	◎【知技】前学年や当該学年で配当されている漢字を文や文章の中で使っている。（〔知識及び技能〕(1)エ）	◎【思判表】「書くこと」において，目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりしているとともに，事実と感想，意見とを区別して書いたりしているなど，自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。（〔思考力，判断力，表現力等〕Bウ）	【態度】積極的に前学年や当該学年で配当されている漢字を使い，学習課題に沿って，教科書の絵を説明する文を書こうとしている。
三 登場人物の変化を読み、自分の考えをまとめよう きつねの窓	◎【知技】思考に関わる語句の量を増し，話の中で使っていると同時に，語句と語句との関係，語句の構成や変化について理解し，語彙を豊かにしている。また，語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して，語や語句を使っている。（〔知識及び技能〕(1)カ）	【思判表】「書くこと」において，目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりしているとともに，事実と感想，意見とを区別して書いたりしているなど，自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。（〔思考力，判断力，表現力等〕Bウ）	【態度】進んで登場人物の心情の変化を考え，学習の見通しをもって想像したことを書こうとしている。

	び技能〕(1)オ)	等〕Bウ) ◎【思判表】「読むこと」において、人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりしている。（〔思考力、判断力、表現力等〕Cエ) ◎【思判表】「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめている。（〔思考力、判断力、表現力等〕Cオ)	
書評を書いて話し合おう	◎【知技】日常的に読書に親しみ、読書が、自分の考えを広げることに役立つことに気付いている。（〔知識及び技能〕(3)オ)	◎【思判表】「話すこと・聞くこと」において、話の内容が明確になるように、事実と感想、意見とを区別するなど、話の構成を考えている。（〔思考力、判断力、表現力等〕Aイ) ◎【思判表】「話すこと・聞くこと」において、資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫している。（〔思考力、判断力、表現力等〕Aウ) 【思判表】「書くこと」において、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりしているとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりしているなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。（〔思考力、判断力、表現力等〕Bウ) ◎【思判表】「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめている。（〔思考力、判断力、表現力等〕Cオ)	【態度】進んで書き表し方に着目して文を整え、これまでに読んだ本の中から好きな本について書評を書き、紹介し合おうとしている。
敬意を表す言い方	◎【知技】日常よく使われる敬語を理解し、使い慣れている。（〔知識及び技能〕(1)キ)		【態度】積極的に語感や言葉の使い方に対する感覚を意識し、学習課題に沿って敬意を表す言い方を適切に使い分けようとしている。
言葉と私たち	◎【知技】話し言葉と書き言葉との違いに気付いている。（〔知識及び技能〕(1)イ)	【思判表】「話すこと・聞くこと」において、話の内容が明確になるように、事実と感想、意見とを区別するなど、話の構成を考えている。（〔思考力、判断力、表現力等〕Aイ) 【思判表】「書くこと」において、目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、集めた材料を分類したり関係付けたりし	【態度】粘り強く論の進め方について考え、学習の見通しをもって言葉に対する自分の考えを書こうとしている。

		て、伝えたいことを明確にしている。（〔思考力、判断力、表現力等〕Bア） ◎【思判表】「読むこと」において、目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けたり、論の進め方について考えたりしている。（〔思考力、判断力、表現力等〕Cウ）	
漢字の広場 ⑤ 同じ訓をもつ漢字	◎【知技】・思考に関わる語句の量を増し、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにしている。（〔知識及び技能〕(1)オ）		【態度】積極的に前学年や当該学年で配当されている漢字を文や文章の中で使い、学習の見通しをもって異字同訓について理解を深め、関心をもつとともに正しく使い分けようとしている。
漢字の広場 ⑤ 五年生で学んだ漢字⑤	◎【知技】前学年や当該学年で配当されている漢字を文や文章の中で使っている。（〔知識及び技能〕(1)エ）	◎【思判表】「書くこと」において、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりしているとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりしているなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。（〔思考力、判断力、表現力等〕Bウ）	【態度】積極的に前学年や当該学年で配当されている漢字を使い、学習課題に沿って、教科書の絵を説明する文を書こうとしている。
四 伝記を読んで、人物の生き方について自分の考えをまとめよう 伊能忠敬	【知技】文の中での語句の係り方や語順、文と文との接続の関係、文章の構成や展開、文章の種類とその特徴について理解している。（〔知識及び技能〕(1)カ）	【思判表】「書くこと」において、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりしているとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりしているなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。（〔思考力、判断力、表現力等〕Bウ） ◎【思判表】「読むこと」において、人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりしている。（〔思考力、判断力、表現力等〕Cエ） ◎【思判表】「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめている。（〔思考力、判断力、表現力等〕Cオ） ◎【思判表】「読むこと」において、文章を読んだまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げている。（〔思考力、判断力、表現力等〕Cカ）	【態度】積極的に原因と結果など情報と情報との関係について理解し、学習課題に沿って伊能忠敬の生き方を考えたあと、興味のある人物の伝記を読んで、その人物を紹介しようとしている。
日本語の文字	◎【知技】語句の由来などに関心をもっていると同時に、時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いに気付き、共通語と方言との違いを	【思判表】「話すこと・聞くこと」において、目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え	【態度】積極的に日本語の文字の由来や特徴を理解し、今までの学習を生かして適切に使い分けようとしている。

	理解している。また、仮名及び漢字の由来、特質などについて理解している。（〔知識及び技能〕(3)ウ）	合う内容を検討している。（〔思考力、判断力、表現力等〕Aア）	
漢字の広場 ⑥ さまざまな読み方	◎【知技】思考に関わる語句の量を増し、話の中で使っているとともに、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにしている。また、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使っている。（〔知識及び技能〕(1)オ）		【態度】積極的に前学年や当該学年で配当されている漢字を文や文章の中で使い、学習の見通しをもって同形異語や熟字訓、同字異訓についての理解を深め、言葉の使い方に関心をもとうとしている。
五 出会った言葉を振り返ろう ひろがる言葉	◎【知技】話し言葉と書き言葉との違いに気付いている。（〔知識及び技能〕(1)イ）	◎【思判表】「話すこと・聞くこと」において、目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝える内容を検討している。（〔思考力、判断力、表現力等〕Aア） ◇「話すこと・聞くこと」において、互いの立場や意図を明確にしながら計画的に話し合い、考えを広げたりまとめたりしている。（〔思考力、判断力、表現力等〕Aオ） ◎【思判表】「書くこと」において、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりしているとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりしているなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。（〔思考力、判断力、表現力等〕Bウ） ◎【思判表】「書くこと」において、文章全体の構成や展開が明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付けている。（〔思考力、判断力、表現力等〕Bカ）	【態度】積極的に卒業を前に六年間の言葉の学びを振り返り、成長を自覚するとともに、中学校での新しい言葉との出会いの希望を持とうとしている。

評価規準（令和2年度）【国語】6 学年

単元名	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
文字の旅 六年生で学習すること 目次 はじめの学習 ■学習の進め方 ■点画の種類 ■姿勢と持ち方、用具のあつかい方	【知技】 日本の文字の歴史について知っている。 【知技】 1年間のめあてや学習内容について知っている。 【知技】 用具の扱い方や姿勢、筆の持ち方、筆の扱い方を理解している。 用具の扱い方や姿勢、筆の持ち方が身についている。 これまでに学習した「筆圧」や「点画の種類」について理解している。	【思判表】 文字が日本に伝わって現代に至るまでの流れについて考えている。 【思判表】 用具の扱い方や姿勢、筆の持ち方、筆の扱い方の良さしをを考えている。 筆の穂の柔らかさや筆圧について考えている。	【態】 日本の文字の歴史について関心をもち、調べていこうという意識をもっている。 【態】 1年間の学習内容を知り、書写学習に対する意欲をもっている。 【態】 用具の扱い方やよい姿勢、筆の持ち方、筆の扱い方を確かめようとしている。 ほかの書写場面でも、よい姿勢やよい持ち方で、筆の穂の柔らかさや筆圧、「点画の種類」を意識して書こうとする意識をもっている。
2 文字の大きさと配列 『歩む』	【知技】 用紙に対する文字の大きさと配列について理解している。 用紙に対する文字の大きさと配列に気をつけて書いている。	【思判表】 用紙に対する文字の適切な大きさと配列について考えている。	【態】 ほかの文字や硬筆でも、用紙全体に対する文字の大きさや配列に気をつけて書こうとする意識をもっている。
【レッツ・トライ】 メモ 一話し合いメモ	【知技】 目的に応じた書き方について理解している。 許容される書き方について知っている。	【思判表】 さまざまな場面に適した書き方について、話し合っている。	【態】 メモの取り方を知り、他教科での学習活動や日常生活に生かしていこうとする意欲をもっている。 許容される書き方を知り、関心をもっている。
3 文字の組み立て方(三つの部分) 『湖』	【知技】 三つの部分の幅の違いと点画の形の変化について理解している。 三つの部分の組み立て方に気をつけて書いている。	【思判表】 三つの部分の組み立て方について考えている。	【態】 三つの部分の組み立て方に気をつけて書こうとしている。 ほかの文字や硬筆でも、文字の組み立て方に気をつけて書こうとする意識をもっている。
<硬筆の学習> 文字の組み立て方（左右、上下、中と外）	【知技】 左右、上下、中と外の組み立て方について理解している。 左右、上下、中と外の組み立て方に気をつけて書いている。	【思判表】 左右、上下、中と外の部分の組み立て方について考えている。	【態】 左右、上下、中と外の組み立て方に気をつけて、硬筆で書こうとしている。
【レッツ・トライ】 ノート 一国語のノート	【知技】 学習内容が理解しやすいノートのまとめ方についてわかっている。 学習内容が理解しやすいように工夫してノートをまとめている。	【思判表】 学習内容が理解しやすいノートのまとめ方について考えている。	【態】 書写以外の学習場面でも、わかりやすい書き表し方を工夫して書こうとしている。

【レッツ・トライ】 リーフレット ―校外学習のリーフレット	【知技】読みやすく書くための基準について理解している。 文字の大きさ，行の中心，余白，行頭の位置に気をつけて書いてる。	【思判表】読みやすく書くための基準を確認し，自分のめあてを設定している。	【態】書写で学習した内容を，他教科での学習や日常生活にも生かしていく意欲をもっている。
【知りたい 文字の世界】 文字の成り立ち			【態】文字の成り立ちについて関心をもち調べている。
4 文字の大きさと配列、点画のつながり 『思いやり』	【知技】点画のつながりについて理解している。 配列のポイントについて理解している。 点画のつながりに気をつけて書いている。 用紙に対する文字の大きさに気をつけて，文字の中心を行の中心に揃えて書いている。	【思判表】点画のつながりについて考えている。 用紙に対する文字の大きさと配列について考えている。	【態】点画のつながりについて関心をもっている。 配列に気をつけて書こうとしている。
【レッツ・トライ】 文化 ―『枕草子』を書く	【知技】文字の大きさと配列について理解している。 文字の大きさと配列に気をつけて書いている。	【思判表】文字の大きさと配列について考えている。	【態】伝統的言語文化の教材を書く意欲をもっている。 文字の大きさと配列に気をつけて書こうとしている。 書写以外の学習場面でも，文字の大きさや配列に気をつけて書こうとする意識をもっている。
【知りたい 文字の世界】 生活と文字	【知技】日常生活の中で見られるさまざまな文字について知っている。	【思判表】日常生活の中で見られるさまざまな文字について話し合い，考えている。	【態】日常生活の中で見られるさまざまな文字について，調べようとする意識をもっている。
5 文字の大きさと配列、点画のつながり（小筆） 『この道や行く人なしに秋の暮』	【知技】配列のポイントについて理解している。 点画のつながりについて理解している。 用紙全体に対する文字の大きさに気をつけて，行の中心をそろえて書いている。 点画のつながりに気をつけて書いている。	【思判表】用紙全体に対する文字の大きさについて考えている。 点画のつながりについて考えている。	【態】配列や点画のつながりについて関心をもっている。 ほかの文字や硬筆でも，用紙全体に対する文字の大きさや点画のつながりに気をつけて書こうとする意識をもっている。
【レッツ・トライ】 小筆 ―小筆を生かして書く	【知技】小筆の持ち方や筆使い，配列について理解している。 筆使いに気をつけて，小筆で書いている。 配列や余白のとり方に気をつけて書いている。	【思判表】小筆の持ち方や筆使い，配列を考えている。	【態】小筆を学習や生活の中で生かす活動に，意欲的に取り組もうとしている。 日常生活においても，小筆の持ち方や筆使い，配列に気をつけて書こうとする意識をもっている。
■好きな言葉を書く （『実現』『夢』『仲間』『友情』）	【知技】これまで学習した配列や字形の整え方について理解している。 自分で選んだめあてに沿ったポイントに気をつけて書いている。	【思判表】6年間で学習したことを生かして，自分のめあてを選んでいる。	【態】6年間で学習したことを生かして，自分のめあてを設定し，書こうとしている。 ほかの学習場面においても，字形の整え方や文字の大きさに気をつけて，配列よく書こうとする意識をもっている。

書きぞめ 『理想』 『伝統を守る』	【知技】書きぞめの姿勢や筆の持ち方、文字の大きさや組み立て方、文字の中心について理解している。 これまで学習した文字の大きさや組み立て方、文字の中心に気を付けて書いている。	【思判表】書きぞめの姿勢や筆の持ち方について考えている。	【態】書きぞめに関心をもち、書こうとしている。 ほかの学習の書写場面でも、よい姿勢や筆の持ち方、文字の大きさや組み立て方、文字の中心に気を付けて書こうとする意識をもっている。
はってん —「行書」	【態】中学校で学習する行書について、関心を高めている。		
6 学習のまとめ 『旅立ちの時』	【知技】これまで学習した内容について理解している。 これまで学習したことを生かして、自分の課題に気を付けて書いている。 文字の大きさや配列に気を付けて書いている。	【思判表】1年間の学習を振り返り、自分の課題について考えている。 文字の大きさや配列に気を付けて書こうとしている。	【態】1年間の学習を振り返り、自分の学習の成果を確かめようとしている。 ほかの学習場面でも、文字の大きさや配列など、これまで学習したことに気を付けて書こうとする意識をもっている。
六年間で学習したこと	【知技】これまで学習した内容について理解している。 文字の大きさや配列について理解している。	【思判表】6年間の学習を振り返り、自分の課題について考えている。 文字の大きさや配列に気を付けて書こうとしている。	【態】6年間の学習を振り返り、自分の学習の成果を確かめようとしている。
【知っておこう】手紙 —お願いの手紙	【知技】手紙の書き方について理解している。		
【書いて 伝え合おう】 卒業制作 —思い出に残る言葉を書こう	【知技】効果的に書くための基準について理解している。 文字の大きさ、行の中心、余白、行頭の位置に気を付けて書いてる。	【思判表】効果的に書くための基準を確認し、自分のめあてを設定している。	【態】ほかの学習場面でも、配列に気を付けて書くことを、その目的や効果を考えて成果物に生かそうとしている。
【漢字表】 六年生で学習する漢字 五年生で学習した漢字	【知技】同じ組み立て方の構成をもつ漢字を探すなど、漢字の仲間分けについて理解している。 同じ組み立て方の構成をもつ漢字を探すなど、漢字の仲間分けをしている。	【思判表】これまで学習した字形の整え方、筆順について考えている。 同じ組み立て方の構成をもつ漢字を探すなど、漢字の仲間分けについて考えている。	【態】巻末漢字表を使った仲間分けの活動や漢字の成り立ちについて、関心を高めている。 ほかの学習場面でも、筆順や字形に気を付けて書こうとする意識をもっている。
【平仮名表】 【消しゴム印の作り方】	【知技】平仮名の筆順や字形について理解している。		【態】平仮名の筆順や字形を確かめている。 常に平仮名の筆順や字形を確かめようとする意識をもっている。